

苦しみを乗り越え ともに歌いましょう!!

「昂」は創立以来、命の尊さや平和を願う歌をずっと歌い続けてきました。しかし世界中の人々のたくさんの命と平和な暮らしを奪った COVID-19 によるパンデミックによって、記念すべき20周年コンサートの中止を余儀なくされ、何の活動もできない長い長い冬を耐え忍んできました。

日本では、いまようやく本当の春の兆しが見えてきました。悲しみの傷跡は深いけれど、いつまでも沈んでいては明日はありません。さあ 立ち上がりましょう！みんなで手を取り合って、以前のように思いっきり歌える日々を取り戻しましょう。私たちはうたごえの力で人々に生きる力を届けたい、一人でも多くの人とともに、平和のうたごえを大きくひびかせたいと願っています。

今回のコンサートが、希望へ向かって歩き出す皆さんの力強い出発点となることを願って、力一杯歌います。
たくさんの皆様のご来場を心よりお待ちしております。

男声合唱団 昂 団員一同



演奏曲について

- 春のよろこび 子供の頃が懐かしい童謡などの「春のメドレー」で、厳しい冬を耐え抜き、待ちかねた春を迎える心のときめきを、歌います。
- 世界の歌 韓国語で「朝露」、アカペラで歌うクロアチア語の「U Boj!」(ウ・ボイ)や、ロシアの「白樺」・「母なるヴォルガを下りて」、モンゴルの「歓びのナーダム」、厳しい時代を、たくましく生き抜いてきた世界の人々の熱い思いをお届けします。
- 昂の創作曲 団長の千秋昌弘が、中国の戦跡を訪ねて知った悲惨な事実をもとにした「方正はいくさを物語る」、「方正の青い空」、指揮の本並美德が、地雷撲滅運動の中で作った「地雷ではなく 花をください」、共に歌う仲間を広げたい思いを込めた「昂はうたう」、昂の中から生まれてきた曲を歌います。
- いのちの歌 生きる喜びを歌う「日々草」、真実を貫く孤独なたたかいでの希望を歌った「ゆらゆら春」、永遠の平和を願う心にしみる名曲「死んだ男の残したものは」、そして、最後に「いのちの歌」で会場全体をあたたく包み込んでコンサートを締めくくります。

特別ゲスト

スーホの白い馬モンゴル楽団

「スーホの白い馬」という絵本の題名から名前を冠したモンゴル楽団は2014年に、大阪で設立されました。モンゴルの楽器(馬頭琴、トブショル、ホーミー、口弦)を使って、日本の各学校や音楽会で演奏し好評を博しています。モンゴル音楽を発展させ他民族の音楽と融合させながら、音楽での国際交流を実現しています。

馴染みのある楽曲を通して、モンゴルの音楽と文化・情緒をお楽しみください。



昂で新しい人生を見つけよう!

団員大募集中!!

何か打ち込めるものがほしい。
そんなあなたの願いを実現します。
あこがれの男声合唱に挑戦しませんか?

レッスン: 第1, 3, 5金曜日午後6時、第3, 5日曜日午後2時
会場: ねむかホール(大阪メトロ谷町6丁目駅 徒歩3分)
詳細は、チラシ表に記載の、問合せ先まで。

第13回コンサート後から新たに、男声合唱団 昂 を応援し、初心者も参加しやすい12つの取り組みを始めます。

日曜団員

月一回の日曜参加で、昂団員としての合唱人生が始まります。(毎月第三日曜日午後)

昂友の会

昂を支える活動で、女性も昂の舞台上と一緒に歌えます。

(詳しくは、別途募集チラシをごらんください。)